

(2) わがまちの生活習慣病に関する健康課題

★すべての都道府県で設定する指標

☆地域の実情に応じて都道府県が設定する指標(埼玉県版)

○白岡市が独自に設定する指標

考 察
◀早期発見・特定健診 特定健診受診率は国と比べて高いものの、特定健診対象者のうち、約2割が未受診者かつ生活習慣病の治療も受けておらず健康状態が不明の状態にあることから、本来医療機関受診勧奨や特定保健指導による介入が必要な人が、依然として捉えきれていない可能性が考えられます。
◀生活習慣病発症予防・保健指導 健診受診者における受診勧奨対象者が国や県よりも多い状態であり、メタボリックシンドローム該当者・予備群該当者が横ばいである中、特定保健指導実施率は国・県より低いことから、特定保健指導が十分に実施できておらず、メタボリックシンドローム該当者や予備群該当者の状況が悪化した結果、生活習慣病患者の増加につながっている可能性が考えられます。
◀重症化予防 保健事業により予防可能な重篤な疾患を見ると、虚血性心疾患・脳血管疾患・腎不全はいずれも死因の上位に位置しています。また、国・県との医療費分析の比較では、慢性腎臓病（透析有）・脳梗塞・狭心症の割合が高い状況です。生活習慣病疾患別外来医療費では、これらの重篤な疾患の原因となる糖尿病・高血圧・脂質異常症の割合が高い状況です。 また、特定健診受診者においては、血糖・血圧・脂質に関して受診勧奨判定値を上回っているものの該当疾患に関する服薬が出ていないものが血糖では約3割、血圧では約5割、血中脂質では約8割存在しています。これらの事実から、白岡市では基礎疾患の有病者が外来治療に適切につながっていない結果、虚血性心疾患・脳血管疾患・腎不全といった重篤な疾患が発症してしまっている可能性が考えられます。
◀健康づくり 特定健診受診者における質問票の回答割合を見ると、運動習慣、食習慣の改善が必要と思われる人の割合が高い状況です。このような生活習慣を継続した結果、高血糖や高血圧、脂質異常の状態に至り、動脈硬化が進行した結果、最終的に虚血性心疾患の発症に至る者が多い可能性が考えられます。
◀医療費適正化・適正服薬 重複服薬者が62人、多剤服薬者が179人存在することから、医療費適正化・健康増進の観点で服薬を適正化すべき人が一定数存在します。 ジェネリック医薬品のシェアが国の目標値80%以上に達していないことから、医療費をさらに抑制できる可能性があります。

健康課題	評価指標
#1 適切に特定保健指導や重症化予防事業につなぐことを目的に、特定健診受診率のさらなる向上が必要です。	★特定健康診査受診率
#2 メタボ該当者・予備群該当者の悪化を防ぎ、減少させることを目的に、特定保健指導実施率の向上・効果的な保健指導の実施が必要です。	★特定保健指導実施率 ★☆特定保健指導による特定保健指導対象者の減少率 ☆血圧が保健指導判定値以上の者の割合
#3 重篤な疾患の発症を防ぐことを目的に、健診で受診勧奨判定値を超えた者に対して適切な医療機関の受診促進や保健指導の実施が必要です。	★HbA1c8.0%以上の者の割合 ☆HbA1c6.5%以上の者の割合 ☆HbA1c6.5%以上かつ糖尿病レセプトなしの者の割合 ○血圧がⅠ度高血圧以上で服薬なしの者の割合 ○LDL-Cが140mg/dl以上で服薬なしの者の割合
#4 生活習慣病の発症・進行、重篤な疾患の発症を防ぐことを目的に、被保険者における運動・食習慣の改善が必要です。	☆血圧が保健指導判定値以上の者の割合 ○1回30分以上の軽く汗をかく運動週2日以上、1年以上実施なしの回答割合 ○週3回以上就寝前2時間以内夕食の回答割合
#5 医療費の適正化を目的に、重複・多剤服薬者に対して服薬の適正化を行うことや、ジェネリック医薬品の使用割合の向上が必要です。	○重複服薬者数の割合(被保険者当たり) ○多剤服薬者数の割合(被保険者当たり) ○年間の通知数 ○ジェネリック医薬品の数量シェア(年度平均)